※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語科	英語コミュニケーションⅠ	3	商業科 第１学年	東京書籍「All Aboard! English Communication I」(CI701) 東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅰワークブック」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと話されれば､｢立て｣｢座れ｣｢止まれ｣などの短い簡単な指示を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる英文（１文）の内容を正確に聞き取ることができる。	・挿絵や写真のある簡単な１～３文程度の情景描写を理解でき、バースデーカードなどのメッセージの内容を読み取ることができる。 ・日常生活で使われる非常に短い簡単な指示やレストランなどのメニューを理解することができる。	・決まった表現や形式を用いて、日時や場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて実物を示しながら、その物について簡単な説明をすることができる。	・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文（１文）を書くことができる。 ・自分についての基本的な情報（名前、誕生日、年齢など）を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Pre-Lesson 1 “My Name Is Ito Neko” be 動詞 Pre-Lesson 2 “I Like Junk Food!” 一般動詞 Lesson 1 “Breakfast around the World” 過去形	聞くこと	a: be 動詞や一般動詞の現在形・過去形を用いた文を聞き取る。 b: 話し手の話す内容を聞き取れる。 c: 話し手の話す内容を聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: be 動詞や一般動詞の現在形・過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 聞き取った言葉が実際にどのような語句で表されるかを理解する。 c: 聞き取った言葉が実際にどのような語句で表されるかを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: be 動詞や一般動詞を用いて、自分の名前・性格・特徴・好みなどを整理して相手が理解しやすいように伝える。 b: 自分の名前・性格・特徴・好みなどを整理して相手が理解しやすいように伝えている。 c: 自分の名前・性格・特徴・好みなどを整理して相手が理解しやすいように伝えようとしている。	プレゼン テーション （授業内）
		書くこと	a: be 動詞や一般動詞の現在形・過去形を用いた文を使って自分のことや身の回りのものを紹介するために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自分のことや身の回りのもの（家にあるもの等）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のことや身の回りのもの（家にあるもの等）について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 2 “Australia’s Cute Quokkas” 進行形 Lesson 3 “A Train Driver in Sanriku” 助動詞	聞くこと	a: 基本時制と進行形の違いや助動詞が使われている文を聞き取る。 b: 進行形や助動詞が用いた文がどのような場面で使われているかを聞き取れる。 c: 進行形や助動詞を用いた文がどのような場面で使われているかを聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 進行形や助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: 珍しい野生動物に関して書かれた文章を読んで、その特徴などが理解できる。 c: 珍しい野生動物に関して書かれた文章を読んで、その特徴などを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 進行形や助動詞(can, will)を用いた文を使って好きな動物や場所について意見のやり取りをする。 b: 好きな動物や場所について、その理由などを伝え合うことができる。また、その場所への行き方を説明することができる。 c: 好きな動物や場所について、その理由などを伝え、相手の意見を理解しようとしている。また、その場所への行き方をわかりやすく説明しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 助動詞(can, will)を用いた文を使って好きな動物や場所について自分の考えを書く。 b: 自分のできること・できないことについて簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のできること・できないことについて簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	Lesson 4 “A Miracle Mirror” to 不定詞 Lesson 5 “Learning from the Sea” 動名詞	聞くこと	a: 行ってみたい場所や将来の夢について聞き取る。 b: どのような表現が使われているか聞き取ることができる。 c: どのような表現が使われているか聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 行ってみたい場所や将来の夢について書かれた内容を読み取る。 b: to 不定詞や動名詞がどのように使われているか、意味を考えながら読む。 c: to 不定詞や動名詞がどのように使われているか、意味を考えながら読もうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 行ってみたい場所について自分の考えを話す b: ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら行ってみたい場所について自分の考えを話すことができる。	プレゼン テーション （授業内）

※令和４年度以降入学生用

	Reading 1 “Short Stories in English”		c: ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら行ってみたい場所について自分の考えを話そうとしている。	
		書くこと	a: to 不定詞や動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 b: to 不定詞や動名詞を用いて興味のある場所や将来の夢について書いている。 c: 相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 6 “A Funny Picture from the Edo Period” 受け身 Lesson 7 “A Diary of Hope” 比較表現 Lesson 8 “A Door to a New Life” 現在完了形	聞くこと	a: 能動態と受動態の違いを聞き取る。 b: 受動態がどのような場面で使われるかを聞き取る。 c: 受動態がどのような場面で使われるかを聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 好きなことや興味のある人物について書かれた文章を読み取る。 b: 相手の好きなことや興味のある人物について、その理由や情報を読み取る。 c: 相手の好きなことや興味のある人物について、その理由や情報を読み取ろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 興味関心のある人物や事柄について、理由や調べた情報を相手に伝える。 b: 比較表現を用いて他のものと比べながら相手にわかりやすく説明する。 c: 比較表現を用いて他のものと比べながら相手にわかりやすく説明しようとしている。	プレゼン テーション （授業内）
		書くこと	a: 興味関心のある人物や事柄について、理由や調べた情報をもとに、具体例を挙げながら書く。 b: 比較表現や現在完了形を使って相手に伝わるように自分の意見をまとめる。 c: 比較表現や現在完了形を使って相手に伝わるように自分の意見をまとめようとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3 学期	Lesson 9 “Fighting Plastic Pollution” 分詞 Lesson 10 “Pigs from across the Sea” 関係代名詞 Reading 2 “The Wizard of Oz”	聞くこと	a: どこに分詞や関係代名詞が用いられているか聞き取る。 b: 現在分詞・過去分詞・関係代名詞が聞き取れる。 c: 現在分詞・過去分詞・関係代名詞を聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 分詞や関係代名詞を用いて後から説明を付け足す文の形・意味を理解する。 b: 環境問題や歴史的な出来事を通して海外と日本とのつながりや文化を読み取る。 c: 環境問題や歴史的な出来事を通して海外と日本とのつながりや文化を読み取ろうとする。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 分詞の後置修飾や関係代名詞を用いた文の使い方を理解している。 b: 環境問題や海外との文化交流について自分で調べ、相手にわかりやすく伝える。 c: 環境問題や海外との文化交流について自分で調べたことについて、相手にわかりやすく伝え合おうとしている。	プレゼン テーション （授業内）
		書くこと	a: 分詞の後置修飾や関係代名詞を用いた少し複雑な文の使い方を理解している。 b: 環境問題や海外との文化交流など自分で調べたことについて、関係代名詞を用いて長めの文を書く。 c: 環境問題や海外との文化交流など自分で調べたことについて、関係代名詞を用いて長めの文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度